

# 第38期 第2四半期(中間) 株主通信

平成22年4月1日～平成22年9月30日

証券コード：8860

Quality & Reliable

**FUJI**  
FUJI CORPORATION LIMITED

# 住まいのトータルクリエイターとして

フジ住宅はあらゆるニーズに対応できる機能を備えております。

会社の設立後間もなく、土地の仕入・許認可の取得・設計・建築・販売の一貫体制を備えた戸建住宅事業が確立され、次に分譲マンションの設計・建築のノウハウが加わり、安定収入の確保を目的に進出した賃貸マンション事業が不動産管理事業を生み、これらがアパート・マンション等の建築を請負う土地有効活用事業へと発展し、これらの総合的なノウハウが投資家向け一棟売賃貸マンションの販売事業の立上げに発展しました。また、一方で設立当初の住宅の代理販売事業とリフォーム事業のノウハウが合体して中古住宅の再生事業『快造くん』が生まれております。

更に注文住宅事業への進出を決定し、住まいに関する全ての事業を展開する陣容が整いました。

販売代理や戸建住宅から派生した各事業が独自のノウハウを持ち、他の事業部門を相互に補完する（相乗効果）、単なる住宅の分譲会社ではなく地域や時代の住宅に関するあらゆるニーズに対応できる機能を備えていることが「住まいのトータルクリエイター」であり、当社の特長です。

地域密着型経営の特長を活かし、顧客に顔を向けた“売りっ放し”、“建てっ放し”のない顧客満足度の高い住宅づくりを継続すると同時に、より高い水準を目指します。

## 新規事業・注文住宅事業

平成22年10月1日より注文住宅事業を開始しました。

### 1. 事業開始の主旨

当社はこれまで、分譲住宅事業、中古住宅再生事業、土地有効活用事業、投資家向け一棟売賃貸マンション販売事業、賃貸及び管理事業、リフォーム事業を展開してまいりましたが、各事業やIR活動を通じて地域の皆様から注文建築や建替えの引き合いが多く寄せられ、これにこたえるために平成21年3月期より事業化のためのテストマーケティングを行ってまいりましたところ、今般、顧客ニーズに対応するための体制が整備でき、注文住宅事業を本格的に開始することといたしました。

当社の従来事業に注文住宅事業が加わることで、地域や時代の住宅に関するあらゆるニーズに対応できる「住まいのトータルクリエイター」として更に幅広い事業展開が可能となります。今後は、この事業を積極的に展開することで、より顧客満足度の高い住宅づくりを前進させてまいります。

### 2. 新たな事業の概要

#### (1) 新たな事業の内容

これまでの戸建住宅の分譲（自由設計住宅）で培ったノウハウを活かし、土地を保有するお客様に対して戸建住宅の新築や建替えを請負う事業を行います。当面は大阪府下において受注活動を展開し、1年目は年間80棟 1,600百万円の受注を目標として事業を開始いたします。

#### (2) 当該事業を担当する部門

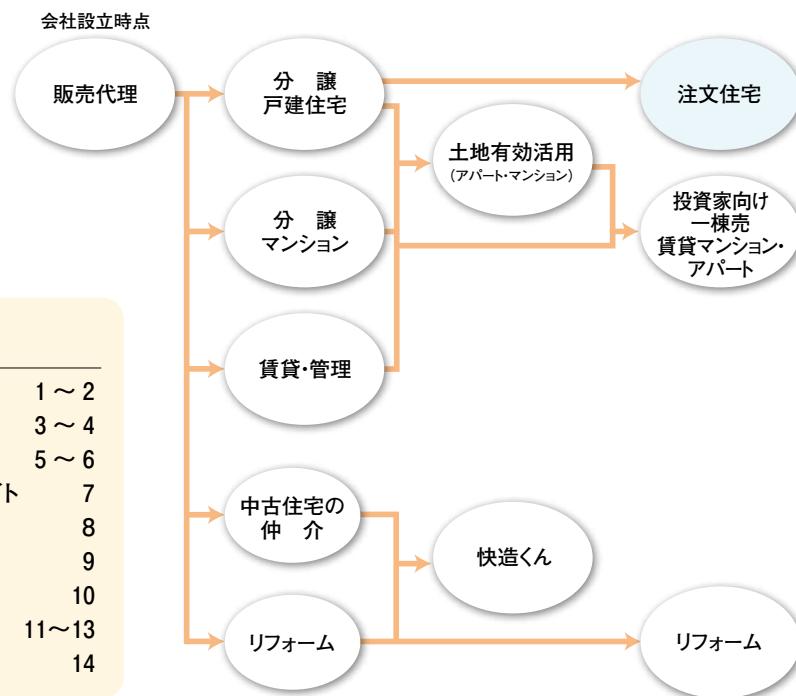
建設本部 注文住宅課

#### (3) 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

当該事業の開始のための人財の確保と組織の整備は終えており、設備投資等の新たな支出はありません。

### 3. 当期の見通し

事業開始時点で受注しても引渡しは翌事業年度以降になりますので、本件新規事業が、当期（平成23年3月期）の業績に寄与することはありません。



## CONTENTS

住まいのトータルクリエイターとして	1～2
株主の皆様へ トップインタビュー	3～4
第2四半期連結財務諸表の要旨	5～6
事業部門別構成比、業績・財務ハイライト	7
インフォメーション	8
株主アンケート集計結果のご報告	9
当社ホームページのご紹介	10
株主アンケートご意見	11～13
株式の状況・会社概要	14

フジ住宅の工法：当社の新築一戸建住宅は、注文建築・自由設計・建売住宅とも全て以下の独自のFX-WOOD工法によって建築されています

品質

# FX-WOOD工法の先進テクノロジー。

伝統の軸組み工法に、メタルジョイントを組み合わせて強度アップした「軸組み金物工法」に、「2×4」の壁面強度をプラスしたフジ住宅独自の<FX-WOOD工法>。建物の柱・壁・床・土台を単一構造体として一体化させ、外力を受け止める強固な基本設計が、木質住宅でありながら耐震強度3>という驚きの強度を実現しつつ、自由で開放的な間取りプランを実現しています。

- A 集成材
- B メタルジョイント
- 1 柱接合金物
- 2 はり受金物
- 3 ホールダウン金物
- 4 銅製束
- 5 筋かい金物
- 6 アンカーボルト
- C MDF&25%合板
- D セルローズファイバー

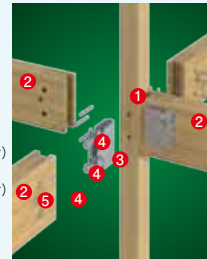
## 集成材 A

柱・梁などには、狂いの少ない集成材を。そして土台には、シロアリなどを寄せ付けにくいベイヒバ集成材を使用。全ての部材を工場内で、設計図面に合わせコンピュータ制御で精密にカットする事で高強度で建て付けの良い、住み心地の優れた家を実現させています。



## メタルジョイント B 1-6

柱・梁・土台などの接合部に、独自開発の金具を採用したメタルジョイント。接合部の弱さが弱点とされた軸組み工法の欠点を解消しました。また金具には亜鉛メッキを施し、長期の防蝕性を高めています。



- 1 通し柱 (構造用集成材)
- 2 梁 (構造用集成材)
- 3 MJ金物
- 4 ボルト
- 5 ドリフトピン

## MDF&25%合板 C

2×4スタイルの構造壁には、木材繊維を圧縮成形した高強度のMDFを。1階と2階の床材には25mm厚の合板を用いて、柱・壁・床・土台を一体化。耐震等級3の高強度と、自由度の高い外観、間取り設計を併せ持つFX-WOOD工法ならではのメリットを両立させています。



## セルローズファイバー D

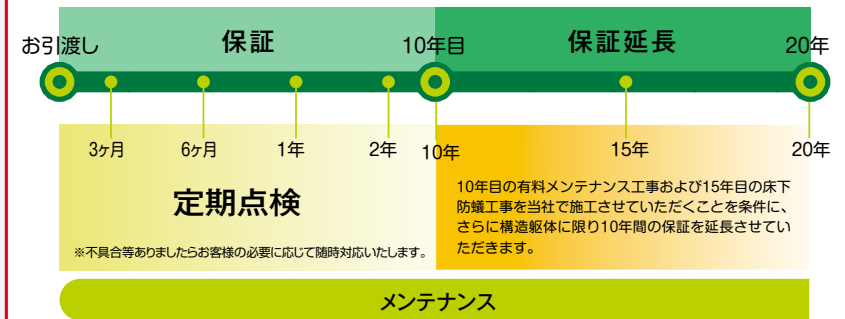
断熱材には、セルローズファイバーを採用。細かな繊維状のため細部まで隙間なく施工でき、高い断熱・遮音効果を発揮します。また吸放湿性のある木質繊維のため、結露抑制効果も高く、F☆☆☆☆(フォスター)の安全基準も確保。耐火性能も高く有毒ガスの心配もありません。



## アフターサービス

フジ住宅の安心保証システム

延長20年間の保証&定期点検を行います!



# 株主の皆様へ



代表取締役社長  
宮脇 宣綱

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご理解・ご支援を賜り、まことにありがとうございます。

平成23年度の上半期（平成22年4月～9月）の経済情勢は、一部に景気の持ち直しの兆しが見られるものの、急激な円高や厳しい雇用情勢等を背景に、不透明な状況で推移いたしました。住宅市場は、低金利、継続的な住宅ローン減税、住宅版エコポイント制度の新設による住宅購入マインドの向上に加えて、住宅価格の調整が進んだことにより低価格物件を中心に販売が堅調に推移いたしました。このような状況下で、当社グループ（当社及び連結子会社：フジ・アメニティサービス株式会社）は、本年4月に「守りから攻めへ！」の方針の下、増収増益の中期経営計画を策定いたしました。

分譲住宅部門では、前事業年度に、非常に厳しい経済

情勢下で、危機こそ好機と捉え、資金調達力を生かして好立地の土地を積極的に仕入れた結果、顧客の住宅間取りや設備仕様に対する様々なニーズに対応した自由設計住宅の受注契約が順調に進み、期初計画を大幅に上回る実績を上げることができました。住宅流通部門では、中古住宅を取得後リフォームして販売する、『快造くん』の事業が、フジホームバンク大阪店の営業地域の拡大、おうち館和泉店の開設等により、前事業年度に引き続き過去最高の好業績を上げることができました。土地有効活用部門では、平成20年11月に事業を開始した高齢者専用賃貸住宅『フジパレスシニア』の引渡しが本格化し、引渡しの前倒しや工事進行基準の適用物件の増加により期初計画を大幅に上回る業績を上げることができました。賃貸及び管理部門では、引き続き厳しい賃貸市場において、稼働率は向上しましたが小規模修繕を含む諸経費の増加により、期初計画を下回りました。

全般的な業績は大変順調で7月30日の第2四半期の業績の上方修正に加え、10月29日に第2四半期の決算と同時に平成23年3月期の業績の上方修正を発表いたしました。これに伴い平成22年11月9日に期末の配当金を当初予定の1株当たり7円から11円へ修正しております。

また、10月1日からは、注文住宅事業に参入し、住宅に関するあらゆるニーズに対応できる「住まいのトータルクリエイター」としての陣容が整いました。昨年6月に創業者であり現会長の今井から新社長として受け継いだ経営理念の理解と実践の徹底により成長した各部門のリーダー（人財）の下での全社一丸となった経営努力と事業展開が実を結んだものと存じます。会長同様に、将来の経営の基盤となる中途採用を含む優秀な人材の採用と人財の育成に努め、今後とも顧客満足日本一、顧客に日本一愛される会社を目標とし、ステークホルダーに顔を向けた、責任を負える住まいづくりと経営を役員共々に目指してまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

平成22年11月

**Q1** 当上半期（第2四半期累計期間）の連結業績の期初目標数値と実績の差異について説明してください。

当上半期の業績は、売上高27,308百万円（前年同期比19.9%増）、経常利益1,369百万円（同18.4%増）、四半期純利益671百万円（同1.2%減）となりました。

平成22年7月30日付で上半期の業績予想の上方修正を発表していますが、期初計画比で売上高7.5%、経常利益95.6%、純利益65.2%の増加となりました。受注契約も期初計画比で24.7%増の29,944百万円（前年同期比37.1%増）と、売上・受注契約の両面で前年同期を上回り、且つ計画を上回る業績を上げることができました。

業績が期初計画を上回った要因は、分譲住宅と土地有効活用物件について工事が順調に進んだことで引渡しが前倒しになったこと、土地活用事業部の賃貸住宅等建築請負工事において工事進行基準の適用物件が増え、売上高が増加したこと、中古住宅の売上総利益率が向上したこと等によります。

なお、連結経常利益と比して連結純利益が少ないのは、保有銀行株式の評価損225百万円を特別損失に計上していることによります。

当上半期の期初目標数値と実績の差異（単位：百万円）

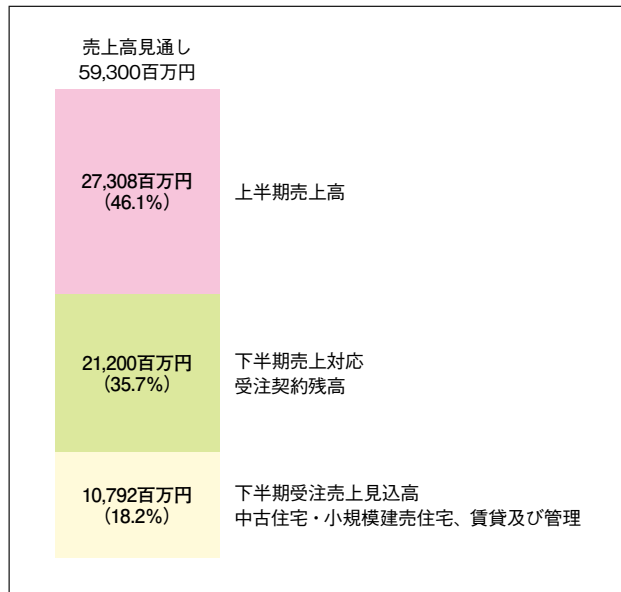
		期初目標	実績	差異
分譲住宅	自由設計住宅	9,789	10,341	+ 552
	計	9,789	10,341	+ 552
住宅流通	中古住宅	7,635	7,648	+ 13
	建売住宅	2,344	2,121	△ 223
	土地販売等	24	6	△ 18
	計	10,004	9,776	△ 228
土地有効活用	賃貸住宅等建築請負	1,296	2,826	+ 1,530
	個人投資家向け一棟売賃貸マンション	714	713	△ 1
計		2,011	3,539	+ 1,528
賃貸及び管理		3,557	3,580	+ 23
その他		37	69	+ 32
連結売上高合計		25,400	27,308	+ 1,908
連結営業利益		710	1,344	+ 634
連結経常利益		700	1,369	+ 669
連結純利益		406	671	+ 265



**Q2** 通期の連結業績見通しとその達成根拠について説明してください。

平成22年10月29日付で通期の業績予想の上方修正を公表しています。修正後の平成23年3月期の業績見通しは、売上高59,300百万円、営業利益3,540百万円、経常利益3,570百万円、当期純利益1,930百万円です。

通期の業績予想の実現度は、上半期の実績に加え、下半期以降の売上高の根拠となる同期末の受注契約残高31,812百万円の内、下半期売上対応分21,200百万円を加えた48,508百万円が既に当期の売上に見込まれており、年間売上高の81.8%に達しています。これに中古住宅及び小規模建売住宅の10月以降平成23年2月までの受注契約と下半期の賃貸及び管理の売上が加わりますので、通期の業績予想は達成できる見通しです。



**Q3** 今期の一株当たりの予想利益45.30円からすると配当金14円は少なすぎるのでは？株価が上がらないのでせめて配当金だけでももっと増やして欲しい。

平成22年3月期は、期初公表の一株当たりの配当金は中間4円、期末6円の年10円を予定しておりましたが、業績の上方修正に伴い中間配当を2円増配し、年12円とさせていただきます。

平成23年3月期の一株当たりの配当金は、前事業年度比較で増収増益を反映して、期初公表は中間7円、期末7円の14円を予定しておりましたところ、期初公表の業績を上回ることが確実になったことから、中間は7円で据え置きですが、期末は4円増配の11円の年18円とさせていただきます。

当社の配当政策は、成長中の企業として、株主還元と長期的なより一層の経営基盤の強化を目的とした内部留保の両面を考慮しております。株主還元を重点を置きすぎて内部留保を疎かにしては企業の安定は望めませんし、内部留保のみを優先しても株主の皆様のご賛同を頂戴することはできません。業績につきましては、右肩上がり本来の姿で、経営陣としてこれを達成すべく努力を重ねておりますが、経済情勢や地価の変動等の影響を受けて、場合によっては長期的な視点で、増益では無く会社の安定を重視し守りに入る選択も必要と考えております。ファンドバブルの崩壊やリーマンショックは、その典型的な事象でした。当社はそのような状況下でも常に安定した経営を目指しており、同業他社の多くが破綻したり、赤字に転落したりする中で、ここ数年減益とはなりましたが安定した経営を推進することができました。今期は経営方針を守りから攻めへへ転じ、好業績を見込み、これに伴い増配とさせていただきます。

今後も経営努力を重ねながら、業績に見合った株主還元を実施させていただきますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

**Q4** 関西中心から関東への進出を期待していますが、関西以外への進出の予定はありますか？

当社は当分の間、現在の主要営業地域の大阪府、兵庫県、和歌山県を離れて福岡、名古屋、東京等の他の地域に進出する予定はありません。業績の向上のみを目的とするのであれば、むしろ営業地域の拡大は、その速度を増すと思われませんが、当社の事業方針は、業容の拡大のみを追うのではなく、顧客に顔を向けた責任を負える住まいづくりと経営にあって、「フジ住宅で買って良かった、建てて良かった」と言っていただげる顧客満足日本一、日本一顧客に愛される会社を目指しております。

この目標達成には、当社だけではなく、協力会社の皆さんと一体となって、住宅を建築し、引渡し後も長くアフターサービス等を通じてお客様とのお付き合いを大切にしないと実現できないと考えております。

住宅の建築に際し、より良い住宅を提供するための基礎の水平度や柱の垂直度の誤差ゼロ、現場の一日5回の清掃等の厳しい現場管理や建物完成時の引渡し前の顧客目線でのチェックは、長期に渡る協力会社の皆さんとの信頼関係が無ければ実現できるものではありません。

地域に密着して住まいのトータルクリエイターとして地域と時代の住宅に関するあらゆるニーズに対応できる機能を備えていることが、当社の強みであり、特長です。

今後も従来同様に隣接の地域への進出はいたしますが、これを大きく超えた地域への進出は以上の理由により実施しない方針で、お客様に愛される地域No.1企業を目指します。



## 第2四半期連結損益計算書 (単位:百万円 百万円未満切捨)

	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
10 売上高	22,775	27,308
売上原価	18,808	22,488
11 販売費及び一般管理費	2,796	3,475
10 営業利益	1,170	1,344
営業外収益	136	178
営業外費用	150	152
10 経常利益	1,156	1,369
特別利益	17	11
7 特別損失	6	232
税金等調整前四半期純利益	1,167	1,148
法人税、住民税及び事業税	484	621
法人税等調整額	4	△ 144
10 四半期純利益	679	671

### Point 8

#### 有利子負債

ついて、その差額144百万円を「その他有価証券評価差額金」にそれぞれ計上しています。これらは、保有資産を時価で評価する時価会計の代表的な処理で、この処理によって投資有価証券の含み損は全て解消されています。

前期中に守りから攻めへと経営方針を転換し、分譲住宅用地を中心とした好立地の優良物件の積極的な選別買入に伴う借入の結果、前年同期に比べ長期借入金は4,442百万円増加した一方で、売上が好調なことで対象物件の借入金の返済が進み、1年内返済予定の長期借入金を主とした短期借入金は5,904百万円減

少しました。その結果、リース債務を除く有利子負債全体では、前年同期比で161百万円の減少となりました。(前期末比では2百万円の微増)。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円 百万円未満切捨)

	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
12 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,176	△ 277
13 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 40	△ 407
財務活動によるキャッシュ・フロー	392	△ 198
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 825	△ 883
1 現金及び現金同等物の期首残高	6,547	6,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,722	5,951

### Point 9

#### 社債、1年内償還予定の社債

種々の資金需要に柔軟かつ機動的に対応するため長期運転資金として平成22年3月に1,000百万円、9月に600百万円の無担保私募債を発行し、資金を調達しました。

### Point 10

#### 売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益

分譲住宅の引渡し及び土地活用物件の工事が順調に進んだことや、中古住宅、土地有効活用事業等の売上総利益率の向上などで、売上高・営業利益・経常利益で期初計画と前年実績を上回り、四半期純利益では特別損失の計上により前年実績を若干下回ったものの、期初計画を上回る実績を残すことができました。(期初計画に比べ、売上高では1,908百万円、営業利益では634百万円、経常利益では669百万円、四半期純利益では265百万円の増加)

### Point 11

#### 販売費及び一般管理費

売上高の増大に伴い、広告宣伝費や中古住宅の販売手数料、営業部門の人件費の増加などで、販売費及び一般管理費は前年同期に比べ679百万円増加しました。

### Point 12

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

積極的な分譲住宅用地の取得や中古住宅の仕入により、たな卸資産が前年度末に比べ1,907百万円増加したこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスになりました。

### Point 13

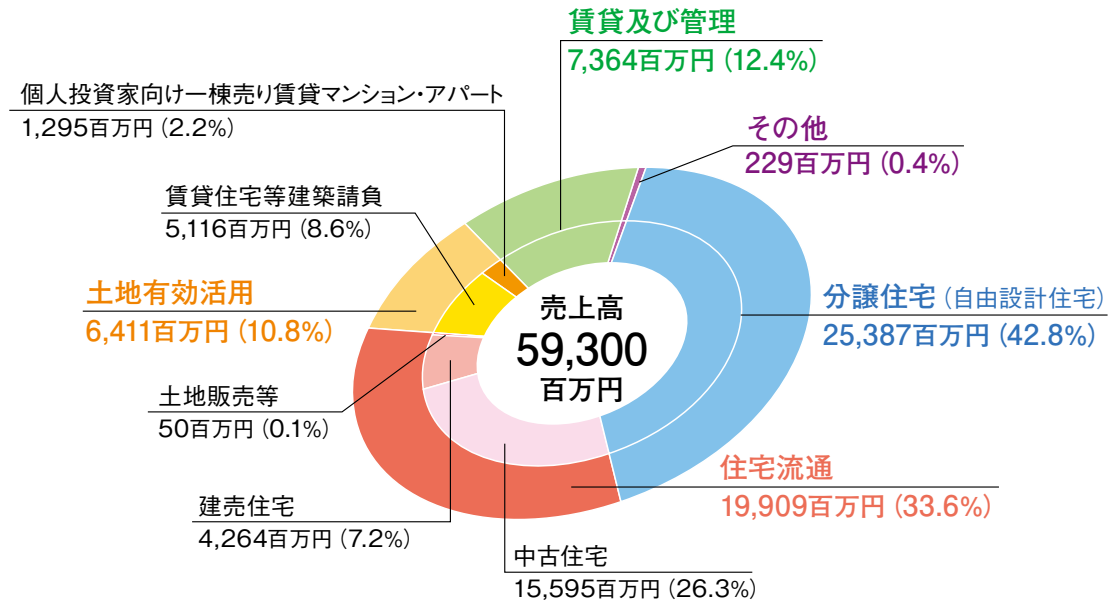
#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

Point⑤⑥と関係しますが、有形固定資産の取得により、投資活動によるキャッシュ・フローは407百万円のマイナスとなりました。

# 事業部門別構成比、業績・財務ハイライト

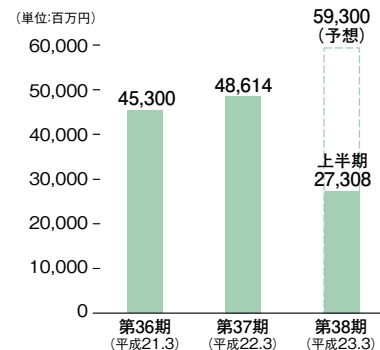
## 事業部門別構成比

— 連結・当期（第38期）予想 —

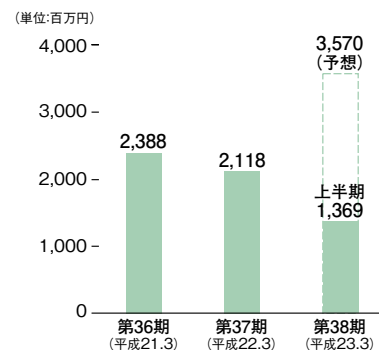


## 業績・財務ハイライト

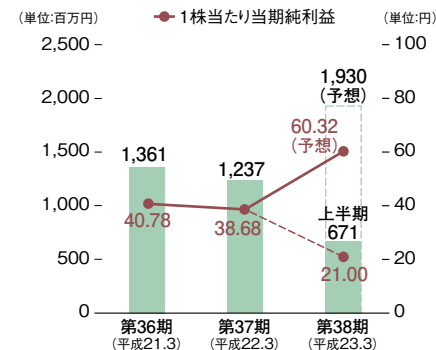
### 売上高の推移



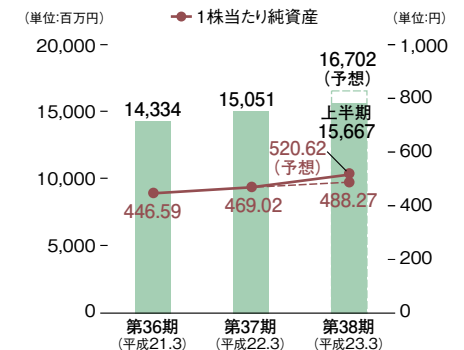
### 経常利益の推移



### 当期純利益・1株当たり当期純利益の推移



### 純資産・1株当たり純資産の推移



※平成21年3月期に3,000千株の自己株式を取得いたしました。



# インフォメーション

## ウィルチェアラグビー（車椅子ラグビー）永易 雄選手ながやす ゆうの雇用と活動支援

当社は、このたび障がい者スポーツ支援を目的として、ウィルチェアラグビー（車椅子ラグビー）の日本代表強化指定選手ながやす ゆうの永易 雄選手を2010年10月21日付で契約社員として雇用いたしました。永易選手ながやすには2年後のロンドンパラリンピックの出場を目指して競技生活を優先しながら、フジ住宅の一員として、車椅子使用者の目線で当社の分譲戸建住宅や土地有効活用事業の高齢者専用賃貸住宅“フジパレスシニア”のバリアフリーの商品企画等にも参画していただきます。

### ■永易 雄選手 プロフィールながやす ゆう

永易選手ながやすは大阪府出身のウィルチェアラグビー選手で、2008年に北京パラリンピックに日本代表として参加しました。また、競技の傍らパラリンピックキャラバンの講師として、地元の青少年への講演活動も行っています。



永易選手

1986年 6月17日 大阪府生まれ。

2001年 中学3年生の時に、学校内のプールでの事故で「けいつい頸椎損傷」になり、運動神経に障がいが残る。

2003年 車椅子バスケットボールのオーストラリア遠征中に現地のラグビープレイヤーに誘われて初めてウィルチェアラグビーをプレイ。帰国後、すぐにクラブハウスチームに所属、日本選手権出場（3位入賞）。

2004年 日本代表強化指定選手に選出され、毎月の合宿に参加。

2008年 日本代表メンバーとしてカナダカップ（バンクーバー）出場。  
北京パラリンピックに日本代表として参加。

2009年 肩のケガのため手術。

2010年 本格的に競技復帰、日本代表強化指定選手として選ばれる。

### ウィルチェアラグビー（車椅子ラグビー）とは

ウィルチェアラグビーとは、プレーヤーが車椅子を使用するラグビーのことで、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケー等の要素が組み合わされており、バスケットボール用のコートで行われます。

ウィルチェアラグビーは、四肢麻痺者等（頸椎損傷や四肢の切断、脳性麻痺等で四肢に障害を持つ者）が、チーム・スポーツをする機会を得るために1977年にカナダで考案され、欧米では広く普及している車椅子による国際的なスポーツです。

1996年アトランタパラリンピックではデモンストレーション競技として初登場し、2000年シドニーパラリンピックからは公式種目になりました。

日本では1996年11月に正式に競技が紹介され、1997年4月に連盟が設立され、現在、競技の国内普及と、パラリンピックや世界選手権等の国際大会への参戦を行っています。

日本は2010年現在、世界ランキング3位となっています。



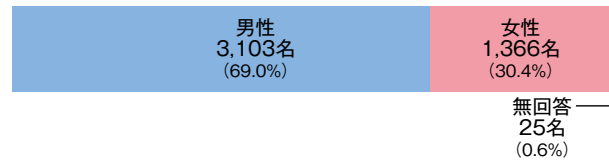
左：今井（代表取締役会長） 中央：永易選手  
右：宮脇（代表取締役社長）

# 株主アンケート集計結果のご報告

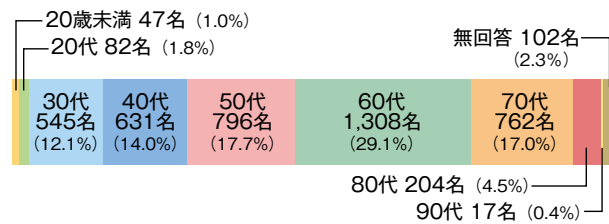
第37期株主通信でお願いいたしましたアンケートの集計結果をご報告させていただきます。  
 平成22年3月31日現在の単元株主様6,582名のうち4,494名の株主様よりご回答いただきました（回収率68.3%）。  
 回答期限までにご回答いただきました株主様全員に徳島産「すだち」1kgをお送りさせていただきました。  
 ご多忙の中、貴重なご意見を多数いただき、厚く御礼申し上げます。

## 回答者構成

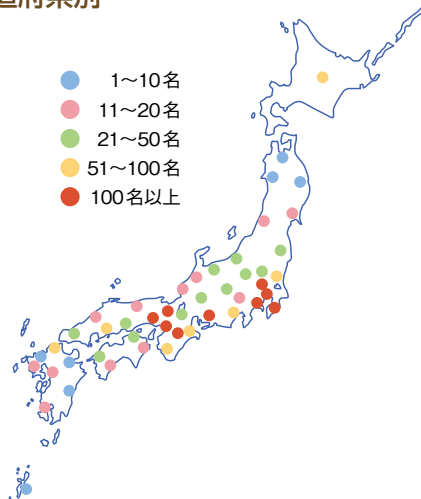
### 性別



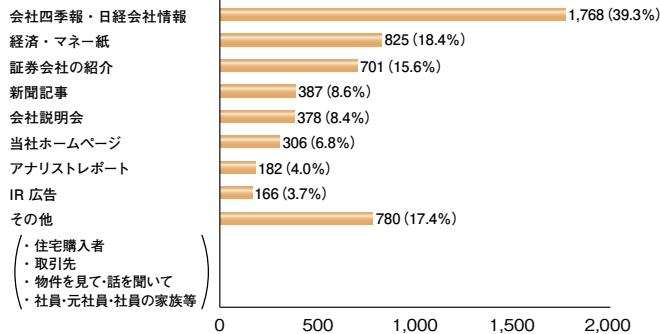
### 年齢別



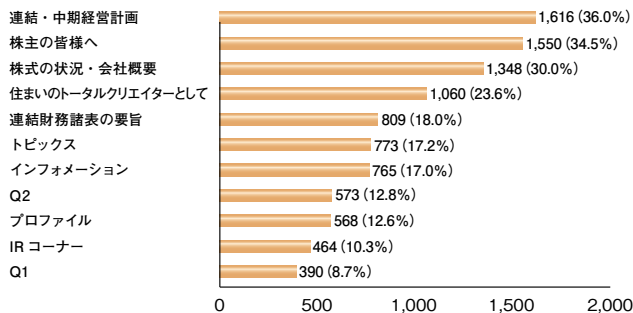
### 都道府県別



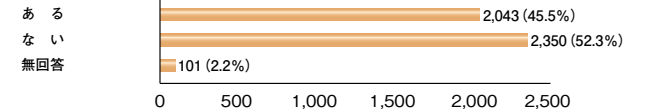
### Q1 当社の株式に投資していただいたきっかけは何でしたか？（複数回答可）



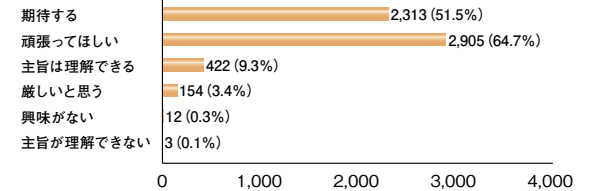
### Q2 今回の株主通信のどの項目に興味を持たれましたか？（複数回答可）



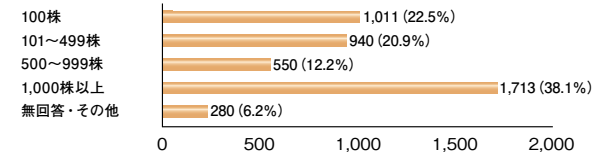
### Q3 当社は、ホームページでさまざまな情報を提供しております。ご覧になったことはありますか？



### Q4 今期中期経営計画についてどのような感想をお持ちですか？（複数回答可）



### Q5 現在ご所有の当社株式は何株ですか？




..... 3月期決算アンケートのご案内 .....

当社では株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただいております。

アンケートにお答えいただいた株主様には、徳島産の「すだち」1kgを9月中旬にお送りさせていただいております。

※すだちプレゼントは継続実施の予定です。



# 当社ホームページのご紹介

第37期株主通信でもお知らせのとおり、当社は、限られた費用でより効果的な個人投資家向けのIR活動（投資家向け広報活動）の推進を目的として、従来の会社説明会に重点を置いた手法からホームページを充実させインターネットを活用する手法へと変更いたします。近年、通信手段が発展し、IR活動の手法も多岐に渡るようになりました。特に今後は公私両面でインターネットを活用してきた団塊の世代が個人投資家の中心になる傾向で、株主の皆様にご回答いただいたアンケート結果を見ましても、当社への投資のきっかけが「個人投資家向け会社説明会」という

方は8.4%と少数であったため、予定通りホームページを充実させインターネットを活用する手法へ変更させていただきます。

つきましては、今年6月にリニューアルした当社ホームページを簡単にご紹介申し上げます。会社説明会を望まれるお声をいただいた株主の皆様、インターネットを利用していないという株主の皆様におかれましては、誠に申し訳ございませんが、今後株主の皆様へお送りするIR資料も充実させていく予定ですので、ご理解下さいませ。

最新の企業・IRニュースをご覧いただけます。



事業ごとの案内をご覧いただけます。



## 家族からはじまる物語

リクルート用にフジ住宅の創業の精神を物語風に冊子として作成したものを、ホームページ上でもご覧いただけるようにいたしました。この物語をお読みいただければ、創業者今井光郎の生い立ちやバックボーン、創業の理由、お客様に対する想い、社員に対する想い等々、ありのままの気持ちを感じ取っていただけるものと存じます。

## 創業者 今井光郎の哲学 人として正しいことを為す

フジ住宅の社員が携帯する小冊子「経営理念・方針」に記載されている内容をご覧いただけます。当社の経営に脈々と流れる理念・方針が、創業者で現会長の今井光郎と社員の対話形式で熱く語られているほか、日常的な業務の行動規範も記載されています。

分譲住宅、中古住宅等の当社の新着住宅ニュースをご覧いただけます。

## IR情報メール配信サービスのご案内

当社では、株主・投資家の皆様に対してインターネットを利用したIR情報メール配信サービス「D-ir net service（ディア・ネットサービス）」を実施しております。より迅速な情報の公開と経営の透明性の向上を図るためであり、ご登録いただいた方々に当社のWebサイト（<http://www.fuji-jutaku.co.jp/>）にIR情報をはじめ、当社の最新開示情報が掲載されたことをご知らせします。

下記にご案内しておりますホームページの登録専用ページへ必要事項を入力の上、ご登録ください（携帯電話のメールアドレスはご利用できません）。

料金は一切かかりませんので、この機会に是非ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

メール配信サービスのご登録は

<http://www.dirnet.jp/8860>





# 株主アンケートご意見

## 1. 経営方針について

### ご意見・ご感想

- ・企業努力をされ、今期、来期と増配される予定とのこと、期待しております。いろいろと経済情勢が厳しい事と思いますが、是非がんばってほしいと思います。御社の将来に期待しております。東京市場での出来高が少なすぎると思います。(70代 男性)
- ・世界的な経済不況の中にあつて、卓越した経営手腕を發揮して下さる経営者に拍手をお贈りしたいです。まだまだ厳しい状況が続くと思われるが更なる奮闘をお願い致します。(70代 女性)
- ・「企業は人なり」まさにその通り。期待してます。誠実な会社とって長期保存のつもりです。毎年「すだち」楽しみにしております。ありがとうございます。(60代 女性)
- ・無配の多い中、よくがんばっていると思います。不動産業界にあつては顧客の信用、信頼が一番の財産です。社長の理念に基づき着実に押し進められる事を期待しています。(60代 男性)
- ・日本のみならず、世界の経済がゆれている現在で、フジ住宅の安定した経営状況を本当に安心して見ることができました。今回の株主通信を友人にも見せたいと思っています。願わくば、株価の上昇を願ってやみません。社員の皆様のご健闘と役員の方々の正しい経営方針をお願い致します。(60代 女性)
- ・不動産市況の長期間の低迷で同業他社が業績不振に陥っている中で、今期も順調な、しかも拡大基調の業績を挙げられた事は、立派だと敬意を表します。又来期の業績も拡大基調を確保され、株主としては頼もしい限りです。経営計画にあるように商品力の強化、開発と継続した人材の育成が安定した企業には重要であり、ご努力を期待します。(60代 男性)
- ・中古住宅の増大は喜ばしい事と思います。安定経営には大切な柱になると思います。今後も期待します。(60代 男性)
- ・社員教育が行き届いて御社の将来が見える様に思います。厳しい時代ですが、頑張っただけいい。期待して居ります。(60代 女性)
- ・組織はやはり大小を問わずトップで決まると言われるように人材成長に力を入れられ、また、その人達が個々成長されたのがとてもわかるような気がします。「守りから攻めへ」は、これからの貴社の益々の発展の題にはふさわしいと思います。期待します。(50代 女性)
- ・社長が笑顔の写真はとても好感が持てて良いと思います。時間がかかっても人を育てる姿勢を応援したいので保有し続けます。「炭の家」に期待しています。すだち、毎年楽しみにしていますので、できる限り続けて頂きたいです。(30代 女性)
- ・私はH18.5月に1,000株購入し、長期保有をしています。株価は半分になってしまいましたが、昨今リスラによって利益を出す企業が増

- えているなか、社員の育成に力を入れる貴社の会社理念の素晴らしいこと共に株主に対する謙虚な姿勢に感銘し、今年2,000株購入しました。これからも益々の発展を心から祈念しております。(7代 女性)
- ・トピックスにあります様に守りから攻めの方針大いに期待しています。御社の計画は信頼にたり得ると考えます。全社一丸となって発展を願っています。以上 (60代 男性)
- ・人材育成に力を入れ社員を大切にしている点に感心しています。株式の買増しを続けて行くつもりです。(70代 男性)
- ・リーマンショックなどの大激動のH21、H22年度に収益をきちんと確保している点を評価しており、今後株式を買い増していく予定である。今後共安定経営第一で、株価があがるよりは、株価が大きく下がらない経営を望む(赤字を出さない経営)。(40代 男性)
- ・住宅メーカーや不動産会社が苦戦する中、非常に確実に業績を残している点に好印象をいただいております。長期的に株式を保有するつもりですので、これからも安定経営よろしくをお願いします。(30代 男性)
- ・社長殿が『人材の育成』『守りから攻めへ』と語っておられることに同感です。社長殿、社員の皆さんのご健闘とご健康をお祈り申し上げます。(60代 男性)
- ・ピンチが更なるピンチになる会社が多い中でピンチをチャンスにしてがんばる御社に心強く思っています。消費税上昇の前に株数のUPを考えています。(60代 男性)
- ・世界的不況の中、堅実な営業に安心感を覚えます。特に変動の波に攻守の機微を適確に判断するすばらしさ。人材の育成を人財とする信念の方向。御社の将来性が大いに期待出来ます。健康住宅「炭の家」非常に住みたい魅力を感じます。(70代 女性)
- ・世の中大変厳しい状況が続いていますが「企業は人なり」を貫き、人材を育成は今後の発展に大切なことと思います。優待の「すだち」毎年楽しみにしています。(60代 女性)
- ・不況の中、財務内容をしっかりさせ、経営計画を着々と実行し、株主に高配当を維持して居られる事は、すばらしい事で、経営陣に敬服して居ります。(60代 男性)
- ・厳しい状況の中で、将来を見据えて、人材育成に力を注がれているのに感銘します。大きな期待を持っています。(60代 男性)
- ・貴社は勝ち組だと思っているので好況時の成長に期待しております。(30代 男性)
- ・長期保有の株主へも優遇案を考えて下さい。いつもアンケートにより株主の声に耳を傾け緻密な経営計画をたてて頑張っておられることに声援を送ります。すだちの頂けるのを楽しみにしていますので40銘柄の中で一番熱心に株主通信に目を配ります。是非続けて下さい。(70代 女性)
- ・私は会長さんの経営方針に感銘致しておりました。現社長さんもそれ

- を引次いで続けておられる事に大変すばらしいと思っております。社是として永久に守って下さい。(60代 男性)
- ・経済雇用情勢が非常に厳しい中頑張っていると思う。不動産業は特に信用が大事と思うので、地域や顧客に信頼される企業であり続けてほしい。(60代 男性)
- ・激動の経済の中でしっかりとした経営をされている会社だと判断し、長期に保有しています。様々な会社に投資をしていますが安定した配当を出す会社に信頼がおけます。これからも御社の手堅い経営を祈念しています。(40代 男性)

## 2. 株価・配当について

### ご意見

- ・大分長らく持っている。良い会社だと思えばこそ。配当17円から12円、来期14円ではがっかりする。1株益が38円あるので配当を減らすことは経営者の便乗減配に見えるし腹がすわっていない。今の不況時代いくら口で上手く言っても株主にしわ寄せは全くよくない。(80代 男性)

### 回答

今回の株主通信P.4のQ3で配当についてご説明させていただきましたので、ご覧下さいませ。

### ご意見・ご感想

- ・私は1株800円近い金額で買いましたが、配当がいいので持ちつづけています。今の値段なら買い足したいと思います。がんばって下さい。(60代 女性)
- ・上場後、購入、売却は考えず長期保有であるので、現株価は買い値を相当下回っている。今後も売却の意思はないので、引き続き真面目な経営を続けて欲しい。総会で株主の意見を充分聞くこととする態度は評価できる。(60代 男性)
- ・株主通信のQ2にもあったが、これだけIR活動を熱心に展開され、株主数も増加しているにもかかわらず、株価が低迷していることに、投資家としても悩ましい。今回の中期経営計画も素晴らしい内容であるのに、株価が反応しないのは信じられないことだが、そろそろ反転の機は熟すと期待。(60代 男性)
- ・ご縁があって持った株です。大切に長くおきたいと思っています。貴社も頑張っただけいい配当は続けて下さい。年寄りの楽しみになっています(笑)。いつもすだちありがとうございます。(60代 女性)
- ・買った値段より株価が下がったままです。配当が良いから持っています。これからも配当を維持して下さい。(20代 男性)
- ・(第37期株主通信) P4の関連ですが、東京の会社でなく、大阪の会



社であるため、過小評価されていると思います。有利子負債も多く、利益も大して上っていない東京本社の不動産会社の株価が上っているのを見ると、大阪人としては腹が立ちますので、御社の株価が安い間に、今年は買増をするつもりです。今まで同様にがんばって下さい。期待しています。(40代 男性)

・株価に関してはもっと評価してもらってもいいと思うのは同感ですが、倒産しない、高配当を維持するという点が明確であれば、極端に株価が下がることもないであろうし、株主としても安心できます。これからも人材、人財の考えで会社を育てていってください。期待しています。(40代 女性)

### 3. 株主通信について

#### ご意見・ご感想

- ・毎期の株主通信は見やすく、工夫しているのが随所に見れる。現在の株価には不満の株主が多いと思われるが、安定した好配当を続けている会社は必ず実態が評価され上昇すると思われる。(60代 男性)
- ・連結財務諸表の要旨の件、わかりにくい見方を、pointで説明していただいているのが、うれしい、よくわかります。(60代 女性)
- ・株主通信の冊子はいつも素晴らしく大変に分かり易く上質な感じが良い、何回も拝読させて戴きました。有難うございました。(60代 女性)
- ・安定配当をお願いします。株主通信が大型で読みやすいですが、コストカットしても良いかと思えます。(40代 女性)
- ・株主通信の内容が非常に分かり易く、会社の実情、方針がよく理解出来ました。今後持株を増やしていきたいと思えます。期待致して居ります。(70代 男性)
- ・いつも徳島のすだちをありがとうございます。株主通信もわかりやすく、他の株はほとんど手放しましたが、フジ住宅株は今後も保持したいと思っています。(40代 男性)
- ・株主通信は本当に見る人の気持ちを考えてのスバラシイ心遣いを感じます。東京でのIRを毎年出席しています。(70代 男性)
- ・株主通信が立派なので吃驚した。株価にも敏感であるので、ファンになりました。安定的な収益と優待継続をお願いします。(60代 女性)
- ・いつも御社の株主通信は楽しみにしています。特に財務諸表 (IR) の解説付きは見やすくて面白い。ポイントが絞ってあり素晴らしい。また今年もすだちを楽しみにしております。(30代 男性)
- ・毎回独自の表現できちんと現状を報告してもらえるので有難いです。財務諸表の解説はどこよりもわかりやすいと思えます。(30代 女性)
- ・いつも立派な株主通信ありがとうございます。毎年の分保存して時には見比べてみえています。通信の中にありましたが業績や会社の営業内容からみても株価は安いです。何故なのかと思ってましたが読んで

納得しました。でも高望みせず着実に行くのが正解とっております。今後とも頑張ってください。(70代 男性)

- ・A4タイプの資料を配布されているのは、非常に良いと思えます。(配当が減少してもA4タイプ資料は、続けて配布を希望いたします。)(60代 男性)
- ・財務諸表の説明は他社になく、一般株主への配慮が見られ、大変素晴らしい。今後も正直な経営をして欲しい。(30代 男性)
- ・他社の株も一部保持していますが、当社の株主通信が一番丁寧で、読みやすいと感じます。ここまでされている企業は他にもあるのか？と感じました。(30代 女性)
- ・他社の株主通信と比べても内容が充実しており、最もわかりやすい。貴社の経営理念に賛同すると共に経営努力とIR活動により株価が適正な価格にアップするよう期待する。(60代 男性)
- ・おぞなりの報告書を送りつけてくる企業が多い中、御社のレポートは読みやすく株主に対する誠意を感じる。ずっと応援したい企業だ。(50代 女性)

#### ご意見

- ・株主通信のパンフは、とてもきれいで高級紙を使用していますが、エコの観点から紙質をおとしても良いように思いました。(60代 女性)
- ・株主通信について普通郵便で送れるサイズにされて郵送コストも下げても良いとおもいます。(30代 男性)
- ・株主通信にお金をかけ過ぎていると思う(紙質、内容等)。お客様用の資料は好感を持たれるようにすべきであるが、株主に気をつかうことはない。いろいろな面でコストダウンに徹すべきと思う。(60代 男性)

#### 回答

ご意見ありがとうございます。

株主の皆様から、文字が大きい方が読みやすいという多数のご要望を反映して、昨年度の株主通信より従来の20cm×20cmのサイズからA4サイズに拡大し、文字を大きくいたしました。しかし再生紙を利用するなどコストダウンをはかりましたので、サイズを大きくしましても郵送費の増額を含めたコストの増加分は軽微で済んでいます。また、当社の経営状況や方針を表す営業用資料としても活用しておりますので、単価も低く抑えられています。内容についても当社IR室で企画・構成をしておりますので、企画料等の余分な費用はかかっておりません。A4サイズに拡大したことで内容をより充実できるようになり、多数の株主様から見やすくなったとご好評いただいております。今後とも株主の皆様のご意見を参考にさせていただきながら、より充実した紙面づくりをして参りますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### 4. 炭の家について

#### ご意見・ご感想

- ・健康住宅「炭の家」は素敵な着眼ですね。我が家は随分以前より吸湿、吸臭、etcの為、部屋のあちこちに備長炭を置いています。(60代 女性)
- ・今後も健康住宅「炭の家」を拡張して健康によい家づくりを目指して下さい。(50代 男性)

### 5. すだちについて

#### ご意見・ご感想

- ・すだち いつも楽しみにしております。(60代 男性)
- ・「すだち」もいいですが、もっと身近に使える消耗品(例、洗剤、石けん)もたまに入れて頂きたい。(70代 女性)
- ・「すだち」は全く魅力のないものです。配当を増やすとか数種類の中から選択出来るようにしてもらいたい。(50代 男性)
- ・すだちだけでなくマツタケも配るような会社になってくれ。期待しております。(60代 男性)
- ・配当以上にすだち楽しみにしています。(60代 女性)
- ・「すだち」も有難いが、それ以外にも何か選定し、何れか選べるようにしてほしい。(70代 女性)
- ・毎年すだちをお送りいただき大変うれしく思います。今年は〇〇と変化があるとよけいに楽しみなのですが…。「みかん」「だいたい」など。主婦はこういう株主優待に弱いです。ありがとう。(60代 女性)
- ・株主通信を興味深く読ませて頂き、何故か、ほのぼのとした気持ちになって来ます。又、年1回のスタチプレゼントを楽しみに待ってます。会社の皆さん、がんばって下さい。(70代 女性)
- ・主人がのこしてくれた貴社の株を相続し、毎年配当金を主人からの「プレゼント」と有難く思っております。大いに期待をしていますので、これからも益々のご発展を願っております。「すだち」いつも有難うございます。サンマにしぼってかけて食べるのが主人が大好きだったので毎年仏前にお供えています。(60代 女性)
- ・「すだち」継続してください。これが楽しみで継続保有しています。(60代 男性)

### 6. その他

#### ご意見・ご感想(株主総会・IR活動)

- ・初めて、株主総会に行きました。株主の質問にも、ていねいに説明され、わかりやすいと思えました。フジ住宅はこの先のびると思えます。

- 頑張ってくださいね。お菓子もおいしく頂きました。(40代 女性)
- 株主総会に参加しましたが、会社全体の雰囲気が大変よかったです。今後の発展を期待しています。(60代 男性)
  - 先日の株主総会に出席して、御社のアットホームな温かな雰囲気に魅力を感じました。弱小株主ですが末長く応援していきたいと思いました。(40代 女性)
  - IR活動について（インターネットに馴染まない株主のことも考慮していただきたい）(70代 男性)
  - 会社説明会により御社と接点を持つことができた私にとってIR手法の変更はとても残念です。頻度は減らしても会社説明会の廃止はすべきではないと思います。(30代 男性)
  - HPの分かりやすさに好感がもてました。(30代 女性)
  - 羽曳が丘の現場、1年前と様変わり嬉しく感じました。昨年実績で羽曳が丘は人口1万人を越え1万1,000に迫っていますが65歳以上が2,800名で高齢化進んでいます。貴社のお陰で今後、高齢化比率ダウンします。町の若返りに貢献するの立派な社会貢献と認識致しました。(60代 男性)

#### ご意見・ご感想(営業地域)

- 名古屋で、家のたてかえを考えていますが、貴社に、発注することは可能ですか？(将来、名古屋にも、進出はされないですか?) 炭の家に、注目しています。(60代 女性)
- 関西中心から関東への進出も期待していますが・・・。(70代 男性)

#### 回答

今回の株主通信P.4のQ4で他地域への進出についてご説明させていただきましたので、ご覧下さいませ。

#### ご意見・ご感想(有利子負債)

- 企業の性格上仕方ないのかも知れませんが、負債(借入金)を出来る限り減少させ、自己資本比率を高めればと思っています。発展を祈ります。(60代 男性)
- 守りから攻めへと経営方針を転換した事には期待しますが、有利子負債の増加が気になります。(60代 男性)

#### 回答

結論から申し上げますと当社の有利子負債の残高は適正水準と判断しています。

土地は、価格変動の影響を受けますが、食品のような賞味期限がなく、アパレルのように流行遅れで商品価値が滅失することがないので、長期に保有できる特殊事情があります。不動産・住宅会社は、仕入れた

土地について、住宅を建築するまでに、種々の許認可の取得や宅地造成に時間を要すること等から、土地の保有期間が長くなること、仕入れる土地を担保に仕入資金を調達するためのたな卸不動産(分譲用地等)と有利子負債の残高が見合い、有利子負債が多くなる傾向があります。当社は、有利子負債の金額より対象となる土地の質(立地、仕入価格)がより重要と考え、90年バブル崩壊を生き抜いたノウハウを生かし、不動産価格の下落局面では、土地の仕入時点ではなく将来の下落を見込んだ発売価格から利益を残した逆算方式で土地の仕入価格を決定する、土地の立地・価格は、用地部ではなく、営業部門が判断する、用地の仕入条件は、用地の調査、仕入営業、許認可取得、開発、企画、設計、建築、財務部門等の引渡しまでに関連する全部門が出席した検討会議を通じて取るリスク、取らないリスクを明確にした上で、決定する等リスク管理を徹底しています。

また、一方で量についても当社の特長、営業力、経営規模、住まいのトータルクリエイターとしての多角経営の総合力を勘案し、当社独自の不動産の在庫量をコントロールする3つの指標目標を平成22年3月期を初年度とする中期経営計画の中で策定しました。

- ①たな卸不動産の残高を不動産売上高の1倍以下
- ②有利子負債をたな卸不動産の0.8倍以下
- ③たな卸不動産を純資産の2倍以下

とする指標です。

この第2四半期末は①が0.79倍(通期予想売上高比)②が0.79倍③が2.35倍で、②の有利子負債については指標目標を達成しております。因みに90年バブル崩壊後の平成4年3月期上半期は①が1.94倍②の有利子負債は2.03倍③が5.07倍でした。当時の当社は同業他社との比較で売上高に対する有利子負債やたな卸不動産は少ないほうでしたが、現在の数値と比較しますと隔世の感があります。現時点で有利子負債の残高は、業種の特性もあり、適正範囲と判断しておりますが、これで良しとするのではなく更に改善を進めてまいります。

#### ご意見・ご感想(住宅供給戸数)

- ・大阪府住宅供給実績第1位に驚いた。見直した。(60代 男性)

#### 回答

株式会社住宅産業研究所による平成22年4月発表の「2008年(平成20年度)の低層住宅供給棟数の大阪府総合ランキング」で、当社が大手のハウスメーカーを抑えてNo.1になりました。従来より規模や供給戸数増大を狙ったことはありませんが、地域密着経営の下で、営業地域の隣接地に進出する方針を長期的に継続した結果として、いつの間にか大阪府No.1となった次第です。これも偏に長い時間を掛けて大阪府の住宅需要層のご信託を頂戴した結果と存じております。

#### ご意見・ご感想(住まいのトータルクリエイター)

- ・今後とも住まいのトータルクリエイターとしてさらなるご発展を期待いたします。(50代・男性)
- ・地域密着の住まいのトータルクリエイターとして今後も地域発展のために頑張ってください。(60代・男性)

#### 回答

当社の特長であり強みの一つは、地域に密着して、住まいに関する多角経営を展開していることです。本年10月に注文住宅に参入し、分譲住宅《マンション、一戸建(自由設計・建売)》、中古住宅再生・『快造くん』、土地有効活用(高齢者専用賃貸を含むアパート・マンションの提案型建築請負)、投資家向け賃貸アパート・マンションの棟売り、注文住宅、リフォーム、賃貸及び管理と住まいに関するトータルクリエイターとしての陣容を整えました。リーマンショック後の非常に厳しい経済情勢下で、この特長を活かし、分譲部門の業績の低下を『快造くん』と土地有効活用事業が補填し、業績の安定維持ができました。少子高齢化が言われていますが、住まいがなくなることはありませんので、今後とも時代と地域のニーズに合わせ、それぞれの事業の比重を変えることで地域No.1の、地域の皆さんに愛される住宅会社として存続発展したいと存じております。

#### アンケートのご意見を採用し改善させていただいた事項

#### ご意見

- ・IR活動を会社説明会重点からインターネット活用手法への変更は大賛成でも中間に1回位株主を中心に決算説明会的なものを開催してほしい。経済的には小さいが中間配当のお知らせハガキは不要では(ほとんどの企業では出状なし)(70代 男性)

#### 回答

ご意見ありがとうございます。ご指摘頂戴しましたように、当期から「中間配当に関するお知らせ」のはがきは取り止めさせていただきます。単なる形式的なご連絡はできるだけ避ける一方で、より充実したIR資料をお送りさせていただくようにいたします。

株主の皆様からいただく貴重なご意見を当社では毎年IR活動に反映させていただいております。今回のアンケートはがきのご意見で、今年度から「中間配当に関するお知らせ」のはがきの送付を取り止めさせていただきます。

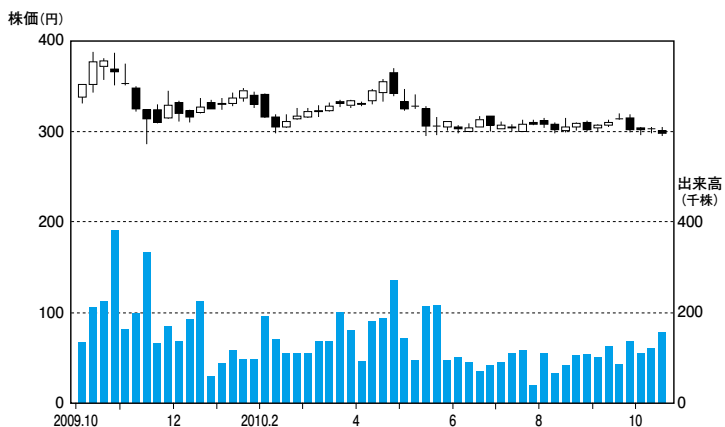
# 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 105,000,000株
- 発行済株式の総数 36,849,912株  
(内、自己株式4,851,307株)
- 株主数 7,827名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
今井光郎	3,752千株	10.18%
有限会社フレックス	3,422千株	9.29%
有限会社フジ住宅従業員共済会	2,561千株	6.95%
フジ住宅取引先持株会	1,528千株	4.15%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,225千株	3.33%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託紀陽銀行口)	1,012千株	2.75%
株式会社池田泉州銀行	681千株	1.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	604千株	1.64%
株式会社紀陽銀行	585千株	1.59%
今井志朗	580千株	1.58%
フジ住宅従業員持株会	525千株	1.43%
株式会社三井住友銀行	419千株	1.14%
合計	16,898千株	45.86%

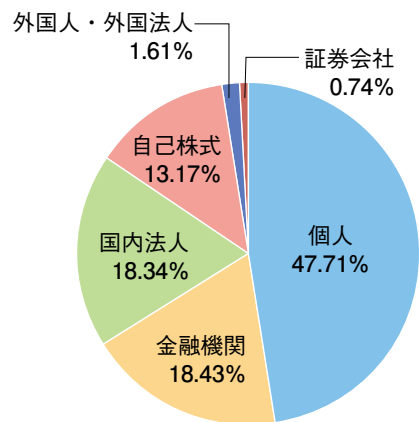
(注) 上記のほか、自己株式4,851千株があります。

## ● 株価チャート (平成21年10月～平成22年10月)

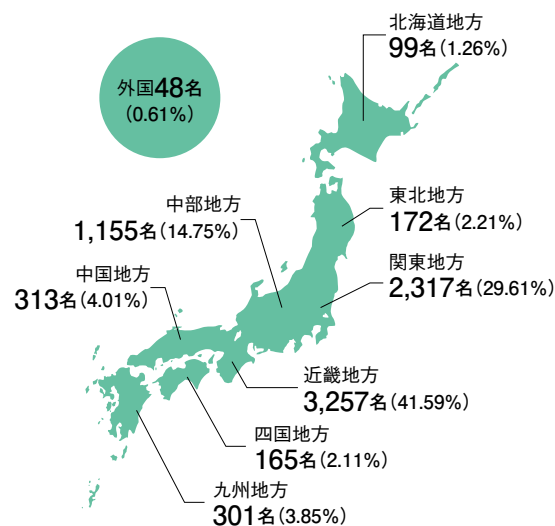


※株価は大阪市場を採用しております。

## ● 所有者別株式分布状況



## ● 地域別株主分布状況



# 会社概要 (平成22年9月30日現在)

社名	フジ住宅株式会社																																				
英文商号	FUJI CORPORATION LIMITED																																				
設立	昭和49年4月19日																																				
代表者	宮脇宣綱																																				
資本金	48億7,206万円																																				
従業員数	349名 (連結383名)																																				
事業内容	分譲住宅事業 住宅流通事業 土地有効活用事業 賃貸及び管理事業																																				
関連会社	フジ・アメニティサービス株式会社																																				
取引銀行	三井住友銀行、池田泉州銀行 紀陽銀行、りそな銀行、近畿大阪銀行 京都銀行、みなど銀行、関西アーバン銀行 みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行																																				
役員	<table border="0"> <tbody> <tr> <td>代表取締役会長</td> <td>今井光郎</td> </tr> <tr> <td>人財開発室担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代表取締役副会長</td> <td>今井志朗</td> </tr> <tr> <td>分譲住宅事業部門担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>宮脇宣綱</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>山田正明</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>山田光次郎</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>松山陽一</td> </tr> <tr> <td>土地有効活用事業部 営業部長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>石田才昇</td> </tr> <tr> <td>住宅流通部長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行役員</td> <td>石本賢一</td> </tr> <tr> <td>IR室長・経理部長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行役員</td> <td>岡本博</td> </tr> <tr> <td>土地有効活用事業部 部長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>冠野雅之</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>岩井伸太郎</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>高谷晋介</td> </tr> </tbody> </table>	代表取締役会長	今井光郎	人財開発室担当		代表取締役副会長	今井志朗	分譲住宅事業部門担当		代表取締役社長	宮脇宣綱	取締役	山田正明	取締役	山田光次郎	取締役	松山陽一	土地有効活用事業部 営業部長		取締役	石田才昇	住宅流通部長		執行役員	石本賢一	IR室長・経理部長		執行役員	岡本博	土地有効活用事業部 部長		常勤監査役	冠野雅之	監査役	岩井伸太郎	監査役	高谷晋介
代表取締役会長	今井光郎																																				
人財開発室担当																																					
代表取締役副会長	今井志朗																																				
分譲住宅事業部門担当																																					
代表取締役社長	宮脇宣綱																																				
取締役	山田正明																																				
取締役	山田光次郎																																				
取締役	松山陽一																																				
土地有効活用事業部 営業部長																																					
取締役	石田才昇																																				
住宅流通部長																																					
執行役員	石本賢一																																				
IR室長・経理部長																																					
執行役員	岡本博																																				
土地有効活用事業部 部長																																					
常勤監査役	冠野雅之																																				
監査役	岩井伸太郎																																				
監査役	高谷晋介																																				

※監査役岩井伸太郎氏及び監査役高谷晋介氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であり、東京証券取引所及び大阪証券取引所の定めに基づく独立役員です。

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告による < <a href="http://www.fuji-jutaku.co.jp/">http://www.fuji-jutaku.co.jp/</a> >
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネット ホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

### 【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会先について】

証券会社に口座をお持ちの株主さま ⇒ 株主さまの口座のある証券会社

証券会社に口座をお持ちでない株主さま  
(特別口座の株主さま※) ⇒ 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(上記電話照会先)

※株券電子化(平成21年1月5日実施)前に証券保管振替機構(ほふり)をご利用されておらず、その後も証券会社に口座をお持ちでない株主さまの株式は、当社が住友信託銀行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

# FUJI

FUJI CORPORATION LIMITED

 フジ住宅株式会社

〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号  
Tel.072-437-9010 Fax.072-437-9828

<http://www.fuji-jutaku.co.jp/>



最新のIR情報はここを  
クリックしてください。



  
古紙配合率70%再生紙を使用しています

  
VEGETABLE OIL INK